

【様式2】 年間指導計画 2025

R4	学校名:	鹿児島県立加治木工業 高等学校	学校番号:	38
	科目名:	論理・表現 I	大学科:	工業

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4,5	1	SI	ア	授業におけるQ&A	SI1□	日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開において、一定の支援を活用すれば、情報や考え気持ちを伝えたり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができる。
	4,5	2	W	ア	エッセイライティング	W1□	日常生活や学校生活などについて一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく書いて伝えることができる。
	6,7	3	SP	ア	定期考査	SP1□	日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開において、一定の支援を活用すれば、情報や考え気持ちを伝えたり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができる。
2	9	4	W	ア	エッセイライティング	W2□	日常生活や学校生活などについて一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく書いて伝えることができる。
	10	5	SP	イ	スピーキングテスト	SP2□	日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開において、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションを通して論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。
	11	6	W	イ	エッセイライティング	W2□	日常的话题や社会的な話題について一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用し、多様な語句を用いて意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。
	12	7	SP	ア	定期考査	SP2□	日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開において、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションを通して論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。
3	1	8	SI	イ	授業におけるQ&A, プレゼンテーション	SI2□	日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開において、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションを通して論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。
	1	9	SP	イ	授業におけるQ&A, プレゼンテーション	SP2□	日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開において、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションを通して論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。
	1	10	W	イ	定期考査	W2□	日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開において、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションを通して論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。